

「開かれた議会」に向けて、福岡市民と市民団体の皆様へ

2013年、9月14日

九州住民ネットワーク、 福岡・住環境を守る会

連絡窓口； 福岡・住環境を守る会中央区六本松 3-11-41、えいりんビル 3F
(TEL) 092-738-5256、(FAX) 092-738-5224 事務局 石井吉弘

福岡市は全国で一番請願署名が多い町です。しかし市民の願いが反映されているでしょうか？

「〇〇委員会」を作り、有名人を委員長に据え宣伝するわりには疑問です。形だけは「民主的」なポーズをとりながら、実態は行政方針を決定する隠れ蓑のようです。

何故このようなことになるのでしょうか？私たちは政令市の議会の実態を調べる中で、福岡市議会の遅れに驚きました。福岡市は最下位でした。つまり「開かれていない議会No.1」ということです。これが「開かれていない行政」に結び付いています。行政の体質は議会がそれを放任している結果です。

その端的な例は、委員会室から採決の前になると傍聴者を追い出すという時代錯誤の慣習です。こんなことは全国の政令市では福岡市だけです。さらに委員会の報告書には、発言者の氏名も採決の議員別結果も書かれていません。つまり「見せない・聞かせない・知らせない」議会運営を続けています。これでは「開かれた、見える議会を目指す」というスローガンは単なる絵空事です。

議会改革を市民が口にすると「議会のことは議員がする」等と考え、議会改革は一種のタブー的な雰囲気さえあります。「議員による、行政の為の議会」から、市民のための議会に変える必要があります。議会は住民の声に耳を傾け、その意思を反映させる責務があります。これまでその努力を怠ってきたとも言えます。議会の常識は世間の非常識な部分が数多くあります。

今、全国では「こんな議会ならいらない」という「議会無用論」さえ出ています。そのことを真摯に受け止めた議会は変わりつつあります。委員会で住民を交えた討論を開始した議会や、市民参加を文字通り実行する議会が誕生しています。

そこで私たちは、「開かれた議会」に向けて、多くの市民団体と市民が一堂に集まり、どのようにしたら「開かれた議会」が実現できるのか話し合いたいと考えています。日時と会場は以下の通りです。多くの皆様の参加を心からお願い致します。

時・・・10月5日(土)、PM1.00～4.00

所・・・警固教会、教育館、1階ホール

警固教会とは？



日本基督教団 福岡警固教会は1879年（明治12年）に始まり、福岡では最も古いプロテスタント教会です。

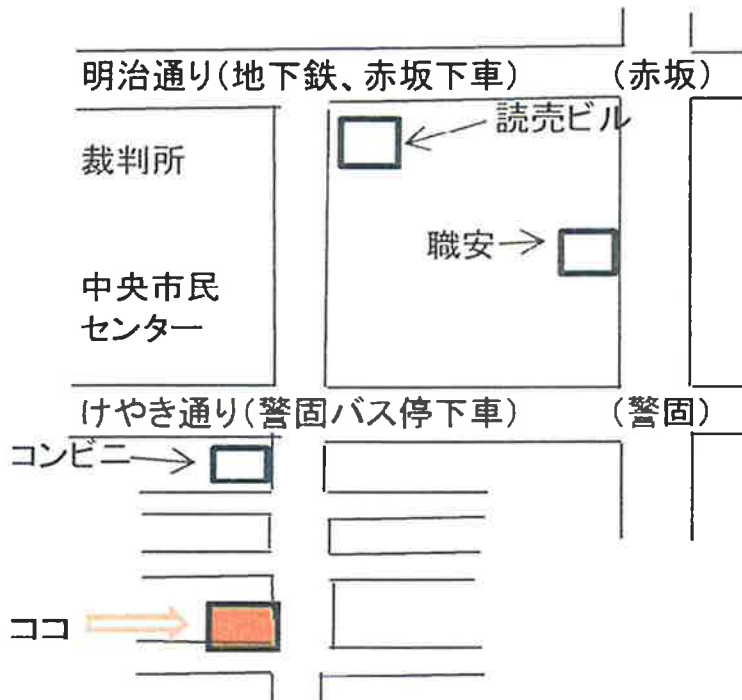
同志社で「八重の桜」の八重の夫、新島襄の薫陶を受けた不破唯次郎が伝道を開始した、同志社と深く結びついた教会です。

今回の会場は、左図の奥にある教育館の1階ホールですが、現在新島襄の記録などを展示しています。

建物は福岡市の「景観賞」を受賞し、九州の現存する鉄筋コンクリートブロックの貴重な建物で、「福岡の宝」ともいべき建物です。

明治時代の建物の多くが福岡では消滅した中で、この教会の存在は福岡市民にとって貴重な建物です。

今回、快く私たちに会場を提供して頂いた牧師様・役員の皆様・信者の皆様に心からの感謝をします。



詳細図



* 駐車場の台数が少ないため出来る限り公共交通を使って参加して頂くことをお願いします。